ふくろう通信

第 83 号
2026 年 10 月 1 日
自然博物園 ねいの里

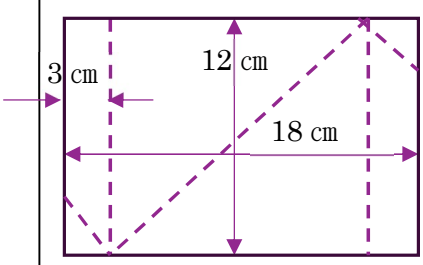
トンボの標本つくり（ワークショップ；7/25～8/23）



ねいの里開園 45 周年記念ワークショップの一つとして、期間限定で開催。
トンボは、ねいの里で捕獲、又は、持込で実施。今回は、手順を紹介します！

①三角紙を用意する

トンボは、暴れて翅が傷つかないよう三角紙に入れて運びます。トレーシングペーパーやクッキングシートで自作してみましょう。





三角紙の寸法例
点線は全て内折

②トンボを三角紙に入れ、処理をする。

トンボを捕まえたら、虫かごなどに入れず、すぐに三角紙へ入れます。その後、三角紙ごと、冷凍庫に２０分間入れるか、炎天下の車内に放置（7～10 分以内）し、トンボの処理を行います。





③トンボにシャーペンの芯を入れる

標本の製作は、乾いて固くなると出来ないので、トンボの処理が済んだら直ちに行います。

まず、両前脚のつけ根の中心から、しっぽの先端まで、真っすぐシャープペンシルの芯（φ0.5mm 程度）を入れ、余りを折り取ります。芯を入れることにより、標本の変形を防げます。





④トンボを乾燥させ、標本ケースに入れる

次に、トンボを三角紙に戻して、日の当たらない風通しの良いところか、タッパーに乾燥剤と共に入れ冷蔵庫で１～2 週間乾燥させます。

乾燥後は、ケースに針やボンドで固定してラベルを付ければ完成です。ケースは、100 円ショップの小物入れや、シャーレでも代用できます。





ねいの里フォトコンテスト作品募集

みなさん！、応募しましたか？

第 4 回ねいの里フォトコンテストの作品募集中です。10/20（日）が締切ですので、応募はお急ぎください。 ①微笑ましい ②植物 ③生き物 の 3 部門のどれにでも応募できます。
9/20 現在、応募が少ないので入賞のチャンスは大！！

「スマホから直接応募可能」「来館者の人気投票なので写真技術不要」

応募状況をホームページのイベント案内で随時掲載していますので参考にしてください。

応募作品は、ねいの里か野鳥の園で撮影した写真に限ります。無邪気な姿、珍しい植物、虫の変な生態など、何でも OK。
応募の詳細は、左の QR コードで。ここから応募もできます。
賞品も用意していますので、たくさんご応募してくださいね。

第 33 回　おもしろ科学実験 in 高岡（8/2）

8/2(日)、ウイング・ウイング高岡で開催された「2026 青少年のための科学の祭典　第 33 回　おもしろ科学実験 in 高岡」に参加しました。

この祭典は、主に県内の教育関係者らにより「未来を担う子供たちが、科学に親しみ、体験を通じて、その楽しさ、不思議さを実感できる場」として、毎年開催されています。

ねいの里のブースは、「生き物を大きくして観察してみよう！」をテーマに、昆虫や爬虫類などをデジタル実体顕微鏡で拡大して、普段は気づかない発見をしてもらい、自然や生き物の面白さ・魅力を感じてもらうのが狙いです。来場者は、昆虫などの細部の形状を観察し、とても楽しそうでした。

雄山中学校の生徒も、ボランティアとしてお手伝いしてくれました。ありがとう！

来年もまた、自然に関する「おもしろブース」を出展する予定です。自然塾会員のみなさんも、ぜひ、遊びにきてくださいね！









投稿　ネイチャーガイドの役割　（ヒグマとの遭遇から）

知床ツアーに参加した時のことです。とあるツアーのネイチャーガイドの行動で、ガイドに必要なことが何かを教えてもらうことがありました。



ツアーコースはヒグマの目撃情報が多い場所で、スタート前にガイドは無線やクマスプレーなどを装備しており、「クマ鈴やラジオなど音の出るものは持たないように」と釘を刺します。訳がわからず、ガイドの後を追いながら知床の自然の説明を聞き、目的の滝を見て帰る途中のことです。



突然、ガイドが「止まってください。動かないで！」と。前の方を見ると、黒い物体が遊歩道を横切り、笹藪の中を歩いています。ヒグマです。ガイドは、冷静に状況をみて我々が慌てないよう指示を出し、本部に無線で状況を報告していました。ヒグマはこちらに気づいていないようで、笹藪の中を遠くへ歩いていきました。時間は長く感じましたが 1～2 分のことでしょう。安全を確認したガイドは、再出発を指示し無事に戻りました。

後でガイドから説明があり「ガイドは、クマや動物が藪で出すガサガサ音を聞き取る訓練を受けています。クマ鈴などの音はその邪魔になるから・・」「今回は、そのガサガサ音に気付いたので止めました。皆さんが冷静に対処していただいたのでよかった。」と。

この件で、ガイドはただ案内することだけが仕事ではなく、参加者をいかに安全に守るかが役割であると再認識しました。ガイドが冷静であり的確な指示を出せば、安全は確保される。それもガイドの役割だとしたら、今の自分のガイドは・・・？

今回のガイドは特別な訓練を受けた専門ガイドなのかもしれませんが、参加者の安全を守ることはナチュラリストや観光ガイドも同じこと。皆さんは、どう思われますか。　　by ナチュラリスト

（写真は、本文と無関係です）

ホウホウクイズ ： ねいの里で見かける、にらめっこが得意な動物はなんじゃ？（ヒント：角が 2 本）

ねいの里　行事報告

●（7/18）まるごと富山の自然体験ツアー　（里山編）



富山県生物多様性保全推進プランの一環として、「富山の大自然を親子で体験できるツアー」を企画しました。今年は、ねいの里で里山の生物たちを調べました。

森の中では、ナナフシモドキを見つけたりアカショウビンの声を聞いたり植物の生き残り戦略も聞きました。

水辺では、トンボやバッタ、カエルなどを捕獲。魚の罠も仕掛けました。後は展示館に戻って、館内と捕獲生き物の説明を聞きました。内容豊富なイベントでした。

●（7/26）　ちびっ子自然体験　③　in　太閤山ランド

今年も太閤山ランドで夏企画を実施しました。当日は生憎の雨で広場での虫捕りはできませんでしたが、散策は楽しめました。小雨の中、カブトムシを見つけた子もいて大喜び。

散策の後は、太閤山荘でねいの里から持ち込んだ生き物や剥製とふれあったり、予め捕獲しておいた虫たちの説明を聞いたりして、子供たちの目は輝きっぱなしでした。

最後にじゃんけんでカブトムシをもらうゲームがあり、最高に盛り上がり、楽しいイベントになりました。



●（8/23, 24）トリックアート展



浮遊物体にまたがる人

錯視師；沢田幸一氏を迎えて、はや 3 回目の開催です。

氏は、毎回、新作を持ち込み、来館者を喜ばせてくれます。

線の長さが違って見える絵など錯視を利用した作品も多く、来館者同士、スマホで撮りあう姿が見られました。

特に、床やボードに置かれた絵は、人が浮かんで見えたり、床に井戸が出現したり、不思議だらけでした。

また、氏の御好意で、トリックアート作成の手ほどきもしていただき、時間をかけて作った作品を大事そうに持って帰る来館者が印象的でした。来年も是非開催したいと思います。

●（9/20）　星空観察会と虫の声を聞こう



今年も、富山県立大天文部の学生を講師に招き、星空の話をしてもらいました。子供たちだけでなく大人も、お兄さんお姉さんの話に聞き入っていました。

今年も星空は見えず、室内での開催となりましが、暗い天井に投影した星空の解説中は、子供も大人も学生に合わせて「カ、シ、オ、ペ、ア・・・」と大合唱。



手作りプラネタリウム

学生手作りのプラネタリウムも人気で、行列ができました。

星空の話の後は、展示館前の広場で、職員の説明を聞きながら、虫の声を楽しんでいただきました。

参加者には、秋を感じるひと時だったのではないでしょうか。



学生の星空解説

ねいの里　これからの行事案内

＊＊＊＊＊＜行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい＞＊＊＊＊＊
受付期間は、行事実施日の１ヵ月前から１週間です。



● **10 月 4 日(日) キノコ狩りときのこ鍋を楽しむ　(共催；自然塾の会)**
時　間：9:30～12:00　　場　所：ねいの里　　定　員：100 名
対象者：一般　　参加費：300 円(キノコ鍋材料費)【自然塾の会会員；100 円】
園内でキノコを採集し、講師の鑑定を受けられます。キノコ鍋の試食もできます。

● **10 月 11 日(日)　ちびっ子自然体験④　(自然塾枠あり)**
時　間：10:00～12:00、13:30～15：30（2 回実施）
場　所：ねいの里　　定　員；各 30 名　　参加費；無料
対象者：未就学児、小学校低学年(保護者同伴)
秋の草むらでバッタやカマキリを探します。



● **11 月 7 日(土)　雑木林探検　　(自然塾枠あり)**
時　間：9:00～12:30　　場　所：ねいの里
対象者：小、中学生　　定　員；30 名(子供)　　参加費；無料
樹木の伐採見学、枝切り体験、木登り体験などで森の管理の大切さや森の楽しみ方を学びます。
伐採した薪で焚火を楽しもう！

● **11 月 29 日(日) ナイフで作ろう　森のオブジェ　(共催；自然塾の会)**
時　間：10:00～12:00(児童、初心者向)　13:30～15:30(成人、経験者向)
場　所：ねいの里　　対象者：小学校 3 年生以上(小学生は保護者同伴)
定　員；各回 10 名　　参加費；200 円/人（材料費）
森の整備で出た木や枝をナイフで削り、オブジェを作ります。



● **12 月 5 日(土)　ミツロウシートでキャンドル作り　(共催；自然塾の会)**
時　間：10:00～12:00、13:30～15:30　　場　所：ねいの里
対象者：一般　　定　員；各回 20 名　　参加費；500 円/人(材料費)
養蜂で使うミツロウシートで簡単なキャンドルを作ります。ミツバチの話もあります。

● **12 月 12(土)～13 日(日)　川越ゆりえ「心の虫」を作ろう　(共催；自然塾の会)**
時　間：10:00～12:00、13:00～15:00　　場　所：ねいの里
対象者：小学生以上　　定　員；各回 20 名　　参加費；400 円/人(材料費)
あなたの「心」を世界でたった一つの虫の形で表現しませんか

＜開園 45 周年記念ワークショップ＞　～申込不要、自由参加～



● **10 月 10 日(日)～11 月 20 日(金)　森の宝石箱**
時　間：9:30～16:00　　場　所：ねいの里
対象者：一般(来園者ならどなたも)　　参加費：無料
森で見つけた宝物を調べ、ラベルを添えて自分だけの宝石箱を作ってみませんか。

● **11 月 21 日(土)～ 12/21(月)　わくわく木の実のクリスマスクラフト**
時　間：9:30～15:30　　場　所：ねいの里　　対象者：小学生以上　　参加費；無料
松ぼっくりのミニツリーやドングリのクリスマス飾りを作ります。

■　**特別展示**

09/06～10/12　ねいの里キノコ写真展	10/24～12/18　ねいの里写真コンテスト人気投票
12/20～01/25　富山県ナチュラリスト協会写真展	
12/21～03/31 ねいの里写真コンテスト入賞作品展	12/26～01/18　春の七草実物展



発行　富山県自然博物園ねいの里　　館長　荒屋　健治
〒939－2632　富山県富山市婦中町吉住 1－1
Tel；076-469-5252／メールアドレス　shizen@toyamap.or.jp
ホームページ　http://www.toyamap.or.jp/shizen/

ホウホウクイズの解答；　二ホンカモシカじゃ。特別天然記念物なんじゃぞ！。